

# 古一地下開発株式会社 環境行動計画

平成22年 3月31日

## 環境への取組方針

古一地下開発株式会社は、「自然を守り、大地に緑を」を基本理念に、地質調査・法面保護・地すべり対策・さく井工事を行っております。30余年にわたり、地域社会の一員として、豊かな技術と創造力で公共の利益に貢献することを合い言葉に日々努めてまいりました。

これらの事業を進めていくにあたり、環境への影響という観点から、地域と自然環境を守り、そして、環境保全活動に積極的に取り組むことが、地域企業の責務であると認識し全社を挙げて、以下の取組を推進します。

1. 省エネルギーにより、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
2. 廃棄物（一般廃棄物）の排出量を抑制し、リサイクル率の向上に努めます。
3. 紙の使用量を削減し、省資源化に努めます。
4. 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の徹底に努めます。

この方針に基づいて、社員一人ひとりが、自主的に環境に配慮した行動ができるように、取組方針と目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成22年 3月31日

古一地下開発株式会社

代表取締役 古一 高子

### 3 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、具体的な取組を設定して取り組むこととしています。具体的な取組項目は、次の通りです、

目標-1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、平成21年度の356（kg-CO <sub>2</sub> /百万円）を基準として平成23年度までに349（kg-CO <sub>2</sub> /百万円）に削減する
具体的な取組	① 冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する ③ 車で移動する場合には、乗りあわせを徹底する ④ 「エコドライブ10のすすめ」を組織的に推進する

目標-2	一般廃棄物の排出量（売上高当たり）を把握して、平成22年度を基準として平成23年度までに2%削減する
具体的な取組	① 再利用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する ② 排出する一般廃棄物の量を調べる

目標-3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、平成21年度の0.64（kg/百万円）を基準として平成23年度までに0.63（kg/百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社内資料は、白黒コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める</li> <li>② コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する</li> <li>③ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する</li> <li>④ トイレには、目立つ位置にトイレトーパー節約等の啓蒙文を貼り、節約に取り組む</li> </ul>

目標-4	5Sの徹底を推進する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 要るものと要らないものを区分し、要らないものを一掃する</li> <li>② 道具類の保管場所、保管方法を徹底する</li> </ul>

#### 4 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、取組目標の進捗状況と実施状況のチェックをします。